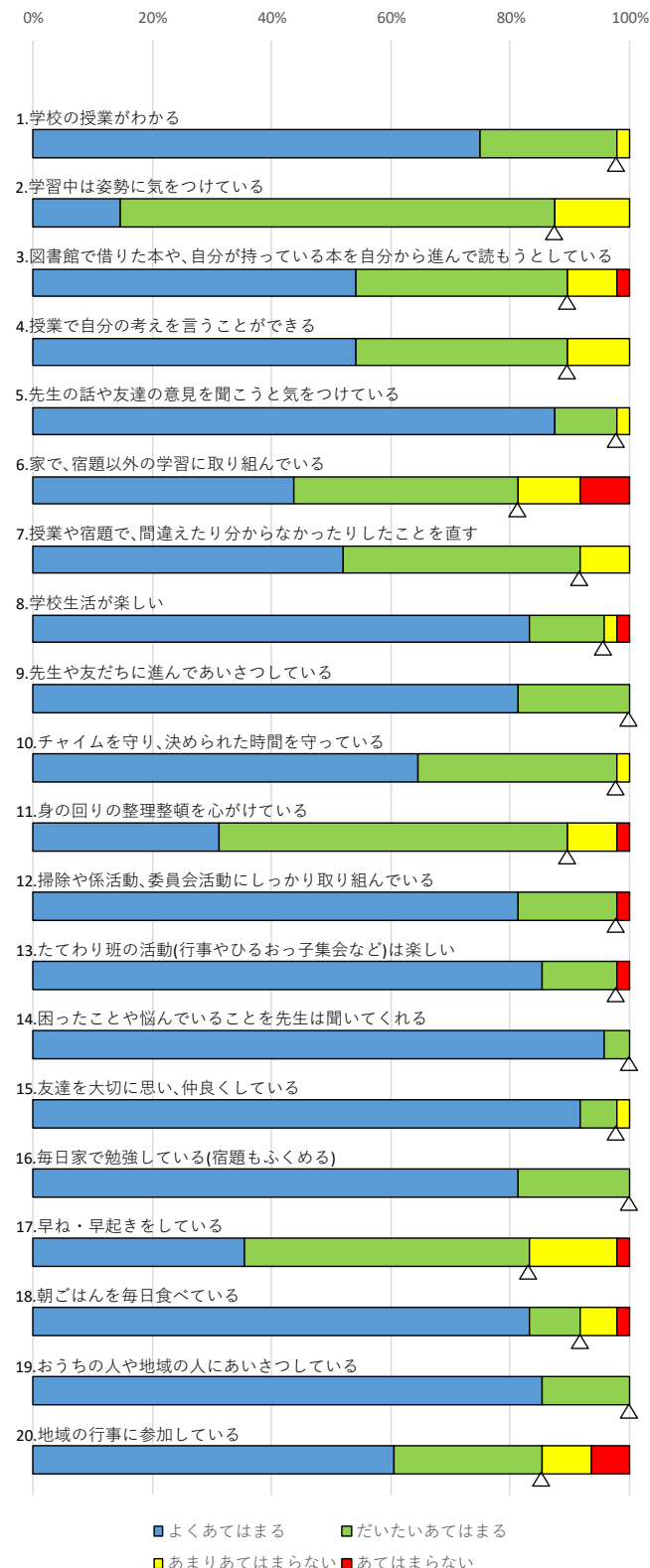


昼生小だより

令和5年1月13日 No.25

アンケートへのご協力、ありがとうございました！

児童「学校生活をふりかえるアンケート」結果



2学期末に実施した学校の活動に対するアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。回収率は、児童100%・保護者95.8%でした。詳細な数値や経年変化については、別紙の結果一覧表をご覧ください。

児童・保護者それぞれの結果をグラフで示してみました。「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」または「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた位置に△印をつけてあります。つまり、△印が右にあるほど、その項目における肯定的回答の割合が高いことを表しています。

児童アンケートの結果より

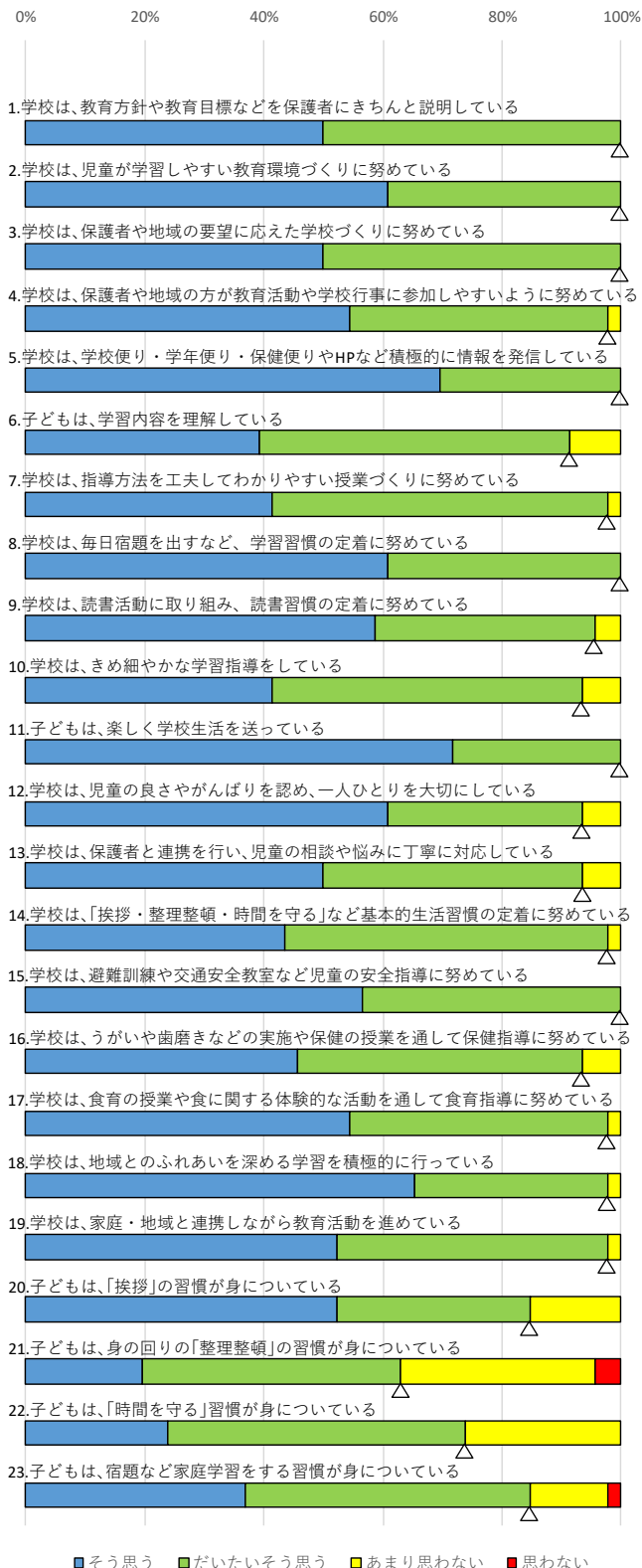
すべての項目で、肯定的回答が80%を超えており、学校生活全般において子どもたちがよく努力している様子が見られます。

特に、項目の9(校内での挨拶)・14(相談)・16(家庭学習)・19(校外での挨拶)で肯定的回答が100%であったのを始め、項目1(授業理解)・5(聞く姿勢)・8(学校生活)・10(時間を守る)・12(係活動等)・13(縦割り班活動)・15(友達関係)でも100%に近い結果でした。

一方で、項目6(自主学習)・17(早寝早起)では肯定的回答が比較的低くなっています。これらは、学校だけでなく家庭での取組も大きいと考えますので、保護者の皆さまからの声掛けもよろしくをお願いします。項目20(行事参加)も低いですが、これにつきましては新型コロナウイルス感染症等の影響もあるとみています。

また、全体的に肯定的回答が多い中で、児童が自信をもって「よくあてはまる」と答えられた割合が少なかった項目が、2(学習姿勢)・11(整理整頓)・17(早寝早起)でした。どれも自分自身の心がけ次第で改善できる内

保護者「教育活動に関するアンケート」結果



保護者の肯定的回答の方が少なくなっています。このことは、子どもが自らを評価する基準が甘いか、子ども自身が気づいていない部分を保護者が見て評価していることを表していると考えられます。これらの「児童と保護者の評価のずれがある項目」を中心に家庭で話題にさせていただくことで、子どもが自分の生活を振り返り、今後の改善につなげていく助けとなるのではないかと思います。今回の学校だよりが、そのきっかけとなれば幸いです。

容だと思えます。もう一度、児童一人ひとりが自分の生活を振り返り、より良い学校生活を送るために自分にできることを考えて、実行できるといいですね。

保護者アンケートの結果より

項目1～19においては、すべての項目で肯定的回答が90%を超えており、学校の様々な教育活動に対して評価いただいていることを感じます。今後も保護者や地域の皆さまの期待に応えられるよう、より良い教育活動を目指して努力していきます。

特に、肯定的回答が多いながらも、項目6(子どもの学習理解)・7(わかりやすい授業づくり)・10(きめ細かな学習指導)・14(基本的な生活習慣の定着)、16(保健指導)では、「そう思う」という積極的肯定の回答割合が50%を下回っていますので、取組の改善や取組の周知がまだまだ必要であると考えています。

また、項目20(挨拶)・21(整理整頓)・22(時間を守る)・23(家庭学習)では、他の項目に比べて肯定的回答が少なくなっています。これらの基本的な生活習慣の定着に関する取組には、家庭のご協力が不可欠です。今後も、学校と家庭とで連携しながら取組をすすめていきたいと考えますので、どうかご理解・ご協力をお願いします。

児童と保護者の結果を比較して

ここまで児童・保護者のアンケート結果を別々に見てきましたが、これらを並べて比較すると、また違った課題が見えてきます。

アンケート項目の「児童1」と保護者6」「児童11」と保護者21」「児童16」と保護者23」「児童19」と保護者20」を比べてみると、それぞれ同じ子どもの姿について評価しているにも関わらず、どの項目も児童の肯定的回答より